

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校名	唐津市立入野小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況調査の分析や学力検査の結果をもとに、低学年から基礎的・基本的な学力を積み上げていく。</li> <li>見直した校時程や行事等の精選を通して、職員が働きやすく、児童とじっくり関わることができる環境を整備していく。</li> <li>学校統合に向けて、土台となる児童間のつながりを深めるとともに、小学校間で綿密に情報交換を行いながら、準備を進めていく。</li> </ul>
2 学校教育目標	自ら学び、仲間と協働し、地域の未来を創り出す入野っ子の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>い いつも気持ち良く あいさつ、返事、はきものをそろえる</li> <li>り 理解できるまで ねばり強く 学習</li> <li>の のびのび 外で遊ぶ</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期にマイプランを立て、実践ふり返りを定期的に行う。</li> <li>校内研修や学年で良い実践を紹介したり、情報共有したりする。</li> </ul>
	○基礎的・基本的な学習内容の定着	○ミニテスト等を継続して行い、学習内容の定着に日々力を入れた教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキルタイムや授業のはじめに、計算や漢字を中心にミニテストを実施する。</li> <li>個に応じた学習の定着を細やかに把握し、支援や補充をより一層行う。</li> </ul>
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業やこころのひろば(人権集会)で、現状や今後振り返りができた児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>こころのひろばや学級活動等全教育活動を通して、人権の大切さを伝えていく。</li> <li>道徳の授業実践を重ね、子どもの変容を見取るために道徳ノートを活用する。</li> </ul>
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○毎月の生活アンケート後、必要に応じて面談を行い、生活協議会で情報共有、早期発見、早期対応した教師100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>月末に生活アンケートを行い、早期発見のつなげ、気付き等を共有する。</li> <li>毎月の生活指導協議会で共通理解し、組織的に対応する。</li> </ul>
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上</li> <li>●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や生活において児童の発言や行動のよいところを認め褒める。児童のよい行いを職員で共有する機会を設ける。</li> <li>地域の人材バンクを活用し、外部講師を招いて様々な職業について学ぶことのできる体験活動を整備していく。</li> </ul>
	○自分の思いを伝え、お互いを認め合うことへの育成を目指す教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分の思いを伝えることができるようになったと思う。」と回答した児童生徒80%以上</li> <li>○「お互いの良いところを認め合うことができるようになった。」と思う児童生徒80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低中高の学年で学級活動の授業研究を行い、全職員で研修を進めていく。</li> <li>統合する3校合同交流活動を定期的に行うことで、今までの仲間だけでなくどんな友達とでも、自分の思いを伝えることができるような体験学習を進める。</li> </ul>
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健康・体づくりに食事は関係している」と考える児童生徒90%以上</li> <li>●朝食を採って登校する児童90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年に2回の「お弁当の日」を活用して、元気に学校に登校できる健康的な体をつくるには食事をバランス良く取ることが大切であることを意識づける。</li> <li>よい子のくらし点検の項目に「朝食」に関してあげることで、朝食を食べてこようとする意識を高める。</li> </ul>
	○健康に気を付けて外で体を動かすことを楽しむ児童の育成。	○熱中症対策などに留意して、縦割り活動やマラソントライムなどを含め、休み時間等に外や体育館で体を動かした児童70%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送・体育委員会など、児童による呼びかけもを行い、天気の良い日は外で過ごす学校全体の雰囲気を作成していく。</li> <li>夏場は、絶妙な水分補給などを呼びかけ、熱中症対策をとりながら安全に外遊びをするように促す。</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時退勤日、定時退勤推進日をもとに目標時間を共有し業務に取り組む。</li> <li>業務効率化につながるアイデアを出し合い、実践する。</li> </ul>
	○チームワークによる計画的な業務推進	○チームワークを意識して、業務に取り組めた職員の割合80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事等への取組後の振り返りを重視し、改善点を明確にする。</li> <li>各部内で連携して、提案内容を検討し業務の効率化を進める。</li> </ul>

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○基本的な生活習慣の定着	○気持ちのよい学校生活を送るため	○「あいさつ、返事、はきものをそろえる」を日々心がけている児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の実態に応じて、重点を決めて取り組む。</li> <li>全校朝会や集団下校時に、取組状況について振り返りをさせる。</li> </ul>
○学校統合に向けた小中連携・小中連携	○学校統合に向けた交流授業の充実	○他校と交流授業の計画・実施に協力して取り組んだ教師90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>他校と協力して交流授業の準備をし、1学期、2学期にそれぞれ1回以上の交流授業を実施する。</li> </ul>

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>.</li> <li>.</li> <li>.</li> </ul>
----------------	---